

# 利根川新橋建設に向け働きかけを



羽鳥光博



町長

今後も建設促進活動を行う

**質問** 11月に開催された県央南部地域連絡道路新橋建設促進協議会総会の内容は何か。特に利根川新橋と烏川新橋の建設促進の力点は当然、利根川新橋であるか。

**答弁** 町長 11月1日に開催された総会には、会長である前橋市長、副会長である私の他、前橋市・玉村町・高崎市の議会議長や委員長、関係部署の部課長が出席し、令和3年度の要望活動などの事業計画案が承認された。総会後に会長による知事への建設促進要望活動が行われた。

橋玉村線以南の県道認定と利根川新橋建設に力点を置き、その後、高崎市への延伸と烏川新橋となっている。今後、前橋市及び高崎市と協力し、建設促進につながる活動を行っていく。

**質問** 副町長は県土整備部長の経験から、建設促進に向けた県への働きかけの仕方等で何か考えはあるか。

**答弁** 副町長 利根川新橋建設が県、特に県央地区にとつて必要なインフラという視点から、必要不可欠な橋であることは認識している。現在、県は公共事業について既存のインフラの補修整備に力点を置いているが、利根川新橋建設につながる活動は工夫して行っていきたい。



利根川新橋と接続する与六分前橋線北端を南側から撮影（板井地内）

協議会の主眼点は、まずは前

橋玉村線以南の県道認定と利根川新橋建設に力点を置き、その後、高崎市への延伸と烏川新橋となっている。

県は公共事業について既存のインフラの補修整備に力点を置いているが、利根川新橋建設につながる活動は工夫して行っていきたい。

**質問** 「たまりん」の運用で、カーボンニュートラル社会に資する電気自動車の導入、JR等各駅に向けた幹線道路走行への転換及び学童送迎への活用を考えられないか。

**答弁** 町長 町の状況に合わせた車両の見直しや県で現在策定中である群馬県地域公共交通計画を踏まえた運行ルートの研究を図ってまいります。

**答弁** 教育長 「たまりん」を小学校の登下校にそのまま活用することは、現時点では難しいと考える。

**こんな質問もしています** 角洲のバーベキュー場・キャンプ場の使用実態と今後について

# コロナ禍での子供たちのケアは



堀越真由子



教育長

関係機関と連携し相談体制を構築

**質問** コロナウイルスの蔓延により学校行事の変更や中止、給食時の黙食等、コロナ禍において子供たちの生活が大きく変化し、児童の心理的不安や影響は大きいと考える。報道では子供の自殺率が全国的に上昇していると言われているが、学校現場では児童の悩みの把握、心のケアはどのようにしているのか。

**答弁** 教育長 教職員が子供たちとの関わりを大切に

にする中で、一人ひとりの子供の不安や悩みを把握し、保護者との連携、学年や校内教育相談部会、状況によってはスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、町のふれあい教室などの専門機関と連携するなど、相談体制を構築して対応している。

また、全ての学校で毎月生活アンケートを実施するとともに中学校では毎日の生活記録や先生に伝えたいこと等を記す「生

活ノート」等により、子供たち一人ひとりの状況を把握し、個別に対応している。

さらに、自殺者数が増加する傾向にあるといわれる長期休業明けの時期等は、普段以上に意識して、きめ細やかに子供たちの様子を把握するよう努めている。

## 「コミュニティづくり」空き家の活用を

**質問** 地域の住民や高齢者のたちを見守り育てる「コミュニティ」の場、また子ども食堂として空き家の活用はできないか。

**答弁** 町長 高齢者等の居場所づくりや子ども食堂

に空き家を利用することは空き家の有効活用につながるため、関係各課と研究していきたいと考える。

**質問** フードバンクや子ども食堂についての案内が本当に必要な世帯に行き届いて



学習支援と子ども食堂

いないのでは。

**答弁** 町長 フードバンクの利用方法や子ども食堂について広報等で紹介しているが、なかなか必要な情報が行き届かない世帯もある。今後、学校や放課後児童クラブ、高齢者の「ふれあいの居場所」などを通して情報提供ができるよう工夫をしていく。

**こんな質問もしています**

消えかけた道路標識や通学路の危険箇所について